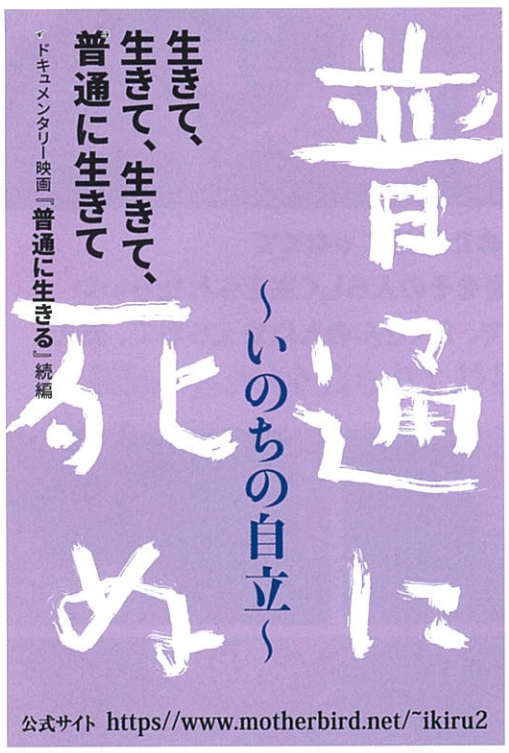
【市民活動団体紹介シート】

団体名	島田市手をつなぐ育成会

しまだ市民活動センター

活　動　内　容

※イベントの様子な
※紹介内容は今年度



イントロダクション

前作『普通に生きる～自立をめざして～』では、「どんなに重い障害を持っていても、本人もその家族も普通に生きる」という理念のもと、重症心身障害児・者と呼ばれる人たちの家族で起ち上げた社会福祉法人が、静岡県富士市と富士宮市にふたつの通所施設（生活介護事業所）〈でら～と〉と〈らぼ～と〉を開所させる五年間を追いました。

法制度の改革の波に揉まれつつも「福祉の受け手から担い手となる」発想で行政に働きかけて、理事である親たちは、自分たちのニーズに合った制度やサービスをつくりあげてゆきました。

続編となる本作『普通に死ぬ～いのちの自立～』は、その後、グループホームの開所や、設立十年を迎えて次第に変わりゆく運営方針や、3つ目の事業所建設という流れの中で、年齢を重ねてゆく本人とその家族を八年にわたって撮影しました。その途中、「医療的ケア」を必要とする人の、在宅生活の中心的ケアラーであった母親が病に倒れます。残された子の母亡き後の地域生活…そこには厳しい現実がありました。

なぜ、医療的ケアが必要だと、「地域で生きる」ことが難しいのか。なぜこの人たちの生活や人生を社会が障害することになってしまうのか…。

映画は厳しい現実を見据えつつ、後半、家族と支援者、医療者の葛藤や気付きを物語の軸に、兵庫県へと、希望を探して旅に出ます。

そこには、伊丹市で〈しぇあーど〉を率いる李国本修慈さんと、西宮市で〈青葉園〉を率いる清水明彦さんらの重ねてきた地道な活動がありました。軽快でしなやかで、しかしとても健やかに人生を賭けて、真正面から繰り広げられている「一緒に生き合う」取り組みがありました。

この映画は障害児とその家族を追ったドキュメンタリーではあるが、そこから見えてくるものはリアルな私たちの生活である。懸命に毎日を生きる人々の営みを、長い時間をかけて信頼関係を築きあげて創られた『普通に死ぬ』。そこに障害者も健常者もない。障害者がその人の人生を尊厳を持って生き、死ぬことのできる社会は、きっと全ての人の人生も輝かせる社会だ。

普通に死ぬ ～いのちの自立～
■この著作の配給・ご購入等に関するお問合せは ■ マザーバード ■ motherbird
■TEL＆FAX：03-6913-5591／e-mail：office@motherbird.net ■ http://www.motherbird.net

「普通に死ぬ～いのちの自立～」映画上映会 入場無料

2021年 11月7日 日
第1回 10時00分（開場 9時30分）
第2回 13時30分（開場13時00分）
各回先着250名（チケットなし）

会場：島田市金谷生きがいセンター夢づくり会館 ホール
住所：島田市島550-2
TEL：0547-46-0075

主催：静岡県手をつなぐ育成会／中部地区連合会／島田市手をつなぐ育成会
協賛：NPO法人 イマジン ・ 後援：島田市／島田市社会福祉協議会

■問い合わせ先：090-8958-7399（担当 杉本斉）

※感染拡大防止策について　今般の状況に鑑み、感染拡大防止のため、入場前の検温（37.5℃以上の方はご入場いただけません）、手指の消毒、マスク着用、座席位置の制限、定期的な換気を実施します。ご理解の上ご協力のほどをお願いいたします。また、万一に備え、入場者名簿（氏名・電話番号）のご記入をお願いいたします。名簿は二週間後に廃棄いたします。

※定例活動やイベン　　れば幸いです。

団体の問合せ先など以下にご記入ください（公式ホームページへの公開情報となります※任意記入）

団体名	島田市手をつなぐ育成会	代表者（もしくは担当者）	杉本斉
所在地（主な活動場所）	島田市稲荷3丁目12-32	連絡方法	090-8958-7399

本票は広く市民にお伝えするため、市民活動センター公式ＨＰ（http://scsc.jp/）へ掲載いたします。ご了承ください。
（令和3年度 11月調査）